

●玉縄の学校長

玉縄中学校
校長 岡田光生 さん



保健体育の教諭として長らく教育現場に立ち続けてきた。昨年一年間、同中学校で教頭を務め、この4月より校長となった。

——改めて玉縄中学校の印象をお聞かせください。

生徒たちは学校目標の「明朗・節度」の通り、素直で純朴、実にかわいいです。大掃除のときに一生懸命床を磨いている生徒がいて、時間が過ぎてももっとやらせてくださいと言うんです。常に目の前のことに一生懸命。行事の準備などで自分たちの分担が終わっても、すぐに手の足りないところがないかと尋ねてきたり、こちらの心が洗われるような場面に度々遭遇します。

——地域の印象はいかがですか。

生まれ育ったのは由比ヶ浜方面なのですが、最初に赴任したのが岩瀬中学校で、大船中学校にも長くおりました。こちらの地域にも親しみを感じておりますし、保護者の中には教え子も多く心強いですね。

——校長先生としてどんな取り組みをお考えでしょうか。

学校というところはどうしても閉鎖的な印象を持たれがちです。学校教育に関して、学校、家庭、地域との三者協力が必須である昨今、なるべく開かれた学校をアピールしていきたいと考えています。体育祭や学校へ行こう週

間など限られた時間になりますが、ぜひなるべく多くの地域の方々に学校の様子を見ていただきたいですね。ほかに二年生の総合学習では地域で働く方をお招きしてお話を聞く機会なども設けています。ホームページなども積極的に活用して、情報発信していければと思います。

それから生徒に対しては一人ひとりに丁寧に対応していきたい。約600人の様々な子どもたちがいます。先生一人が関わるだけではなく、学年等のネットワークを活用して、丁寧に向き合っていくことができればと、先生方にも伝えているところです。



鎌倉市由比ヶ浜生まれ。

教師になったのは自身がラグビーに打ち込んだ経験から、部活動の指導をしたいと考えたのがきっかけ。これまで主に野球部の顧問として部活動に携わってきた。最近は直接指導に関わることはないが、各部の応援にはできる限り駆けつけている。

体を動かすことが好きで、趣味はスキー、ゴルフなど。小学生の次男と出かけるのも休日の楽しみ。

好きな言葉は温故知新。年齢を重ねると変えること、一歩踏み出すことが難しくなりがち。大切なことを変えないことも大事だが、常に新しいことを取り入れる柔軟性を持っていたいと考えている。